

2019年度 公益社団法人 大阪社会福祉士会 定時総会 議事録

開催日	2019（令和元）年6月17日（日）午後3時15分～5時15分
会場	大阪社会福祉指導センター 5階ホール 大阪市中央区中寺1-1-54
総会員数	2,240名（5月末現在）
出席した会員数	1,357名 内訳：当日出席107名 委任状提出による出席1,250名

1. 開会

定刻に至り、司会者 北 秀昭氏が開会を宣言した。

1. 会長挨拶・仮議長選出

直木慎吾会長の挨拶があった。また本会総会運営規程により、直木会長から仮議長が指名され、北 秀昭氏が就任した。

北仮議長から本総会への出席者数の報告とともに、本日の定時総会は定数を満たし、有効に成立した旨が告げられた。

1. 議長団選出等

仮議長より議長の選任を諮ったところ、横田隆作氏が推挙され、満場の拍手をもって選任された。

続いて横田隆作議長より、副議長に松浦宏樹氏が指名され、松浦氏はこれを承諾した。

なお、横田議長より議事録署名人として、直木慎吾会長、西野昭政理事と議長自身の3名が指名され、承認された。

1. 議事

第一号議案 2019年度公益社団法人大阪社会福祉士会 役員選出（案）の件

直木慎吾会長より、本会運営を支えて頂いている各種団体より推薦を受けた会員外理事8名と監事2名について説明があった。選挙管理委員会の東島弘導委員長より、会員理事立候補者9名について選挙管理委員による審査を行い、全員資格要件を満たしていることを確認し、会員に告示をしたことが報告された。

横田議長より、まず会員外理事8名について、候補者の推薦団体・氏名とともに個別に挙手による承認可否を問うたところ、8名全員がそれぞれ過半数以上の賛成が確認された。次に、監事2名についても、同様に個別に挙手にて承認可否を確認し、両名とも過半数以上の賛成が確認された。

引き続き、会員理事候補者9名について氏名・勤務先の説明があり、その都度個別に候補者毎に選任の決議を行った所、全員過半数以上の賛成が確認された。最後に、相談役2名については、満場の拍手をもってそれぞれ異議なく承認された。

以上、第一号議案については、理事 17 名、監事 2 名及び相談役 2 名は次の通り原案通り承認され、任期については、本会定款の規定により選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとした。

- ・ 会員外理事： 浅井俊之、浅野幸子、岩田敏郎、佐光 健、中野博文、西野昭政、
松尾洋輔、和田堅吾
- ・ 会員外監事： 森垣 学、住吉正文
- ・ 会員理事： 前川阿紀子、小尾智恵子、中本勝也、矢島繁一、石田慎二、小笠原範昭
山田美代子、横田一也、下條理恵
- ・ 相談役： 杉村和子、三木一雄

また、法人の代表理事たる会長 1 名、業務執行理事たる副会長 3 名の選任については、本会定款の規定により、本総会終了後開催の理事会において選定するとし、決定後には会員に周知を行う旨報告された。更に、相談役については、本会定款の規定により、総会の決議に基づいて会長が委嘱するとなっているので、理事会において新会長が選任された際に、新会長から委嘱を行うことが確認された。

第二号議案 2018 年度公益社団法人大阪社会福祉士会 事業報告（案）の件

第三号議案 2018 年度公益社団法人大阪社会福祉士会 決算（案）の件

2 議案は関連のため一括上程された。

2018 年度事業の概要について、直木会長より報告があり、引き続き各事業部門については、次の通り各担当役員より説明があった。

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| ・ 相談センター事業報告について | 稲村 啓子 副会長 |
| ・ 生涯研修センター事業報告について | 矢島 繁一 副会長 |
| 生涯研修部会関連 | 氏家 幹夫 理事 |
| 調査研究部会 子ども家庭福祉 PT | 石田 慎二 理事 |
| ・ 国家試験受験対策・新会員入会支援事業報告について | 中本 勝也 副会長 |
| ・ 地域包括支援ネットワーク委員会活動報告について | 前川阿紀子 理事 |
| ・ 独立型社会福祉士ネットワーク委員会活動報告について | 梅津 和弘 理事 |
| ・ 社会福祉士実習指導者養成委員会活動報告について | 中本 勝也 副会長 |
| ・ 受託事業報告について | 直木 慎吾 会長 |
| | 稲村 啓子 副会長 |

引き続き、直木会長より、正味財産増減計算書内訳書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録に基づき決算の概要について説明があり、今期末の正味財産期末残高が、53,149,115円（前年比12,344,229円減）、指定正味財産より成年後見活動の少額補填原資として一般正味財産への振替額が12,763,460円となった旨の報告があった。

続いて、森垣 学監事から、2019（令和元）年5月10日に山崎通也監事とともに、理事の職務執行及び財務諸表等について監査を行い、適正な処理であるとの監事報告書が読みあげられた。

以上、各報告の後、議長より意見・質疑が求められた。次の通りの質疑、意見があった。

（質疑）中河内支部 山根氏

- ・受験対策講座における綱紀案件の詳細が知りたい

中本副会長より、詳細に関しては開示できないが、非会員の方からのハラスメントに関する苦情申し立てに対して第三者委員会を立ち上げて対応を行い、会として苦情を受け止め、再発防止の為に話し合いや研修会を行ったと説明があった。

- ・受託事業のホームレス巡回事業に関して、対象者数の変化や具体的な活動状況と担当圏域以外の取り組み状況について伺いたい。

直木会長より、圏域内での対象者数は年々少なくなっている旨説明があった。大阪市内の巡回指導事業に関しては、佐光外部理事より大阪自彊館などの法人が受託している旨の情報提供があった。

（質疑）大阪北支部 杵氏

- ・児童虐待に関して本会の取り組みや方向性について問う。

稲村副会長より、現状はスクールソーシャルワーカー養成への取り組みなどを中心に子ども家庭福祉分野の事業展開している点と児童相談所との連携活動など具体的な取り組みは現状未定である旨回答があった。

（意見）堺支部 小尾氏

- ・成年後見活動の少額報酬への助成に関して、後見活動開始当初は無報酬での活動から始めており、その中でせめて交通費程度だけでもとの考えから基金を作り対応を始めている。

現実的に基金が底をつくことが予想され、寄付金を超える支出が見込まれる状態を考えると1万円の補填額自体を減額したほうが良いと考える。

その後、横田議長より、第2号議案・第3号議案の承認可否を問うたところ、賛成多数により、両議案は可決承認された。

1. 報告事項

※()は報告役員

- ・2019年度公益社団法人大阪社会福祉士会事業計画および予算の件

2019年3月17日理事会で承認された事業計画及び予算の概要について報告された。1大阪府民の福祉を考える 2組織運営体制の強化と公益社団法人としての取り組み 3生涯研修制度における研修の充実 4会員ネットワークの充実を柱にしており、活動や組織の在り方を検討する委員会を立ち上げることが最重要課題である旨、補足説明があった。(直木 慎吾 会長)

- ・業務監査委員会の報告

成年後見活動状況に関する業務監査について、2019(令和元)年6月13日に外部委員2名と直木会長、稲村副会長の4名により実施された旨と昨年度の活動状況について報告された。

(稲村 啓子 副会長)

- ・公益社団法人大阪社会福祉士会の中長期計画について

前年度の事業報告をもとに新年度事業計画や中長期計画への反映を行っていききたいので、是非とも会員から建設的な意見をお願いしたいと説明があった。

これに関して、川端氏(泉州支部)から、若手会員に対しての入会率促進に向けた取り組みを是非推進してほしいと意見があった。

他の県士会では入会前の方を対象とした準会員組織による若手会員獲得の取り組みがなされており、先行事例として検討していきたいと回答があった。(直木 慎吾 会長)

以上、予定されていた議案すべての審議が終了し、午後5時15分に定時総会を閉会した。

議事録作成者 事務局長 梅津和弘

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において次に署名押印する。

2019(令和元)年6月16日

議長 横田 隆 作 (印)

議事録署名人(代表理事) 直木 慎 吾 (印)

議事録署名人(理事) 西野 昭 政 (印)